

滋賀県希望が丘文化公園  
長寿命化計画  
(個別施設計画)  
【第1回変更】

令和3年3月  
滋賀県文化スポーツ部文化芸術振興課

施設の概要

基準日: 令和3年1月時点

基本情報				
施設名称 (愛称)	滋賀県希望が丘文化公園			
HPアドレス	<a href="https://www.kiboupark-shiga.or.jp">https://www.kiboupark-shiga.or.jp</a>			
電話番号	077-586-2160			
所在地	竜王町薬師1178、野洲市北桜978			
設置目的	優れた自然環境を保護し、活用し、県民に憩いの場を提供するとともに、広く県民文化、体育の向上に資するため、設置された。			
所管	部局	文化スポーツ部		
	課等	文化芸術振興課		
設置年月	昭和49年8月			
土地	敷地面積	4,162.930㎡	避難所指定等	—
	市街化区域	市街化調整区域	防災拠点指定等	広域的陸上輸送拠点
	用途地域	—	文化財指定	—
建物	延床面積	24,240.99㎡	再生エネルギー等	—
	取得価額	約36.8億円	自家発電設備	有
	運営方法	指定管理	障害者用エレベーター	—
運営	運営時間	9:00~17:00	多目的トイレ	有
	休館日	月曜日、年末年始ほか	オストメイト対応トイレ	有
	駐車台数	1,761台	車いす使用者用駐車場	15台



特記事項  
 ①スポーツ会館については、令和2年度から令和3年度にかけて、リニューアル改修工事を実施し、老朽化対策やバリアフリー、アメニティの向上を図る。  
 ②青年の城や野外活動センターについては、施設のあり方について検討していく。  
 ③その他、スポーツ施設は球技場、陸上競技場を改修する。

名称	主体構造	設置年	延床面積	階数	耐震	備考
スポーツ会館	鉄筋コンクリート造	S49.8	4,292.78㎡	2	旧耐震(耐震診断済、耐震性能有り)	
青年の城 (青少年宿泊研修所)	鉄筋コンクリート造	S47.3	8,974.18㎡	3	旧耐震(耐震診断済、耐震性能有り)	
野外活動センター	鉄筋コンクリート造	S45.3	1,216.28㎡	2	旧耐震(耐震診断済、耐震性能有り)	
球技場(ダッグアウト)	鉄筋コンクリート造(人工芝グラウンド)	S55.4 (R3.3人工芝改修)	290㎡ (人工芝11,700㎡)	2	旧耐震(耐震診断済、R4.3耐震補強予定)	
陸上競技場(室内練習場)	鉄筋コンクリート造(ウレタン舗装)	H8.3 (R3.12トラック・天然芝改修)	939.08㎡ (トラック・天然芝14,943㎡)	1	新耐震	
その他			8,531.11㎡	1		便所、自転車置場、倉庫、小屋、焼却場など

成果情報	H29	H30	R1	3カ年平均	備考
利用可能日数(単位:日)	349	349	344	347.3	各ゾーン施設利用の数値
年間利用人数(単位:人)	242,537	264,656	224,096	243,763.0	
1日あたり利用人数(単位:人/日)	695	758	651	701.6	
年間収入(単位:円)	111,856,875	110,065,075	112,572,065	111,498,005.0	
1日あたり収入(単位:円/日)	320,507	315,373	327,244	321,041.3	

コスト情報	H29	H30	R1	3カ年平均	備考
収入	592,528,780	599,621,539	567,599,217	586,583,178.7	収支について、公園全体の収支を記載
基本財産運用益	162,454	160,000	160,000	160,818.0	
特定資産運用益	1,530,651	1,527,629	1,528,328	1,528,869.3	
受託事業収益	12,325,915	54,763,980	3,559,300	23,549,731.7	
自主事業収益	25,849,181	21,834,215	25,930,325	24,537,907.0	
指定管理事業収益	516,883,279	515,629,201	531,473,115	521,328,531.7	
受取補助金	1,029,307	2,554,680	2,385,916	1,989,967.7	
指定正味財産からの振替額	23,792,481	1,000,000	1,000,000	8,597,493.7	
その他	10,955,512	2,151,834	1,562,233	4,889,859.7	
支出	622,153,525	569,532,431	557,046,971	582,910,975.7	
受託事業費	12,325,915	54,763,980	3,559,300	23,549,731.7	
自主事業費	14,088,202	14,480,001	14,810,420	14,459,541.0	
指定管理事業費	513,088,937	497,231,925	535,815,922	515,378,928.0	
総務管理費	6,057,456	3,056,525	2,861,329	3,991,770.0	
退職金	0	0	0	0.0	
支払寄付金	76,593,015	0	0	25,531,005.0	
収支(単位:円)	-29,624,745	30,089,108	10,552,246	3,672,203.0	
資産老朽化比率(※)	89.6%	91.6%	93.6%		

※減価償却累計額(建物) / (有形固定資産合計(建物) + 減価償却累計額(建物))

## 1. 策定の趣旨

本計画は、インフラ長寿命化基本計画(平成25年11月29日)および滋賀県公共施設等マネジメント基本方針(平成28年3月、以下「基本方針」という。)に基づき、戦略的な維持管理・更新等を推進するため、個別施設毎の具体の対応方針を定める計画として策定するもの

## 2. 対象施設

滋賀県希望が丘文化公園

滋賀県公共施設等マネジメント基本方針における「3施設類型ごとの管理に関する基本的な方針」の「1. 庁舎等」にかかる建築物およびその付帯施設

## 3. 計画期間

定期点検サイクル等を考慮の上、可能な限り計画期間の長期化を図ることで、中長期的な維持管理・更新等に係るコストの見通しの精度向上を図るため、令和元年度から令和10年度までの10年間とする。

## 4. 個別施設の状況等

### (1)施設の劣化・損傷の状況や要因等

スポーツ会館: 建築後約48年(令和3年1月時点)を経過し、建築物、設備を問わず、全体的な経年劣化が顕著となっている。

球技場(ダッグアウト): 建設後40年以上が経過し、全体的な経年劣化が顕著となっている。平成30年度に耐震診断を実施、令和3年度に耐震補強工事を実施予定。

青年の城および野外活動センター: 建築後45年以上が経過し、全体的な経年劣化が顕著となっている。今後、当公園の活性化検討の中で、建物改修等の実施を検討していく。

### (2)点検・診断の実施方針

「滋賀県県有施設点検マニュアル」に基づき毎年点検を行うほか、建築基準法第12条第2項および第4項による定期点検、その他建築設備の法定点検等の結果に基づき施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。

また、建築物の老朽化の進行や安全性に影響を及ぼす恐れのある設備についても、併せて劣化状況や修繕の緊急度を把握する。

### (3)その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

## 5. 対策の優先順位の考え方

### (1)目標使用年数

適時適切な改修等により、法定耐用年数を超えて使用することを目標とする。

### (2)当該施設が果たしている役割等を踏まえた優先順位の考え方

当施設は希望が丘文化公園の開園以来、「選手・来園者が気軽に立ち寄れる交流・憩いの場」、「子ども、高齢者、障害者、女性など多世代でのスポーツ・健康づくりを推進するための拠点」としての重要な役割を果たしており、今後も継続的に県内外から多くの来園者を集めスポーツ・健康づくり・レクリエーションの拠点として、その重要性は非常に大きい。

対策の実施にあたっては、施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする。

## 6. 対策内容と実施時期

### (1) 基本的な方針

「現状や課題に関する基本認識」を踏まえ、①施設総量の適正化、②施設の長寿命化、③施設の計画的な更新の3つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。

### (2) 取組方針

#### ① 点検・診断等

- ・劣化状況や不具合状況の的確な把握が重要であることから、法定点検に加えて、全庁的に活用可能な「県有施設点検マニュアル」を策定のうえ、点検を徹底し、劣化や不具合の進行可能性や施設に与える影響などについて評価（診断）を行う。
- ・また、点検・診断等の結果を適切に集積し、施設の維持管理・修繕・更新等へ反映させることで、公共施設における「メンテナンスサイクル」を確立する。

#### ② 安全確保

- ・公共施設の管理においては、県民・利用者の安全確保を最重要事項として認識のうえ、点検・診断を実施し、危険性の有無を適切に把握するとともに、危険性が認められた場合は、速やかに安全確保のための措置を行う。

#### ③ 耐震化

- ・スポーツ会館：旧耐震（平成16年度に耐震診断済み（耐震性有））
- ・青年の城：旧耐震（平成16年度に耐震診断済み、平成19年度に耐震補強工事済み）
- ・野外活動センター：旧耐震（平成16年度に耐震診断済み（耐震性有））
- ・球技場（ダッグアウト）：旧耐震（平成30年度に耐震診断済み、令和3年度に耐震補強工事予定）
- ・陸上競技場（屋内練習場）：新耐震
- ・その他：施設の利用状況や老朽化を総合的に判断し耐震化を図る。

#### ④ 施設総量の適正化

- ・今後の人口減少や少子高齢化の進展等による施設ニーズや県の役割の変化、施設の利用状況、建物性能、維持管理費、政策的必要性等を踏まえた「施設評価」を実施し、その結果に基づき、施設の統合・廃止・縮小等を継続的に実施する。
- ・更新時期が到来した施設については、国・市町の施設との利用調整や、他目的施設との合築等の方策を検討する。
- ・統廃合等で不要となった施設は、他用途への転用や市町、民間への売却など適切な処分を行う他、計画的に除却等を進める。

#### ⑤ 長寿命化

- ・「県有施設点検マニュアル」に基づく施設の点検実施により、不具合箇所や劣化状況の早期の把握・対応を行うことで、可能な限り長寿命化を図る。

#### ⑥ 維持管理・修繕・更新等

- ・施設の安全性や施設の運営に支障をきたすことのないよう、適切に維持管理・修繕等を実施する。
- ・施設の更新（建替・改修）については、施設が果たす役割や将来ニーズ、費用対効果、劣化状況、財政負担の縮減・平準化の観点から事業の必要性や規模の縮小を基本としつつ適正規模等を十分見極めながら、計画的に更新の実施時期を調整することにより、財政負担の平準化を図る。また、PPP/PFI等を含む民間活力を活用する手法もあわせて検討し、更新・修繕コストや管理運営コストの縮減を図る。

## 7. 対策費用

### (1)長寿命化対策

(単位:百万円)

施設名	年次計画										計	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
主な対策												

### (2)大規模改修

(単位:百万円)

施設名	年次計画										計	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
スポーツ会館	14	232	329									575
合計	14	232	329	0	0	0	0	0	0	0	0	575
主な対策 ・老朽化対策(屋根・外壁の全面改修など) ・バリアフリー対策(階段昇降機、屋外スロープなど) ・アメニティの向上等(トイレ・更衣室・シャワーの全面改修など)												

### (3)その他の改修 等

(単位:百万円)

施設名	年次計画										計	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
球技場	30	416										446
陸上競技場		50	348									398
合計	30	466	348	0	0	0	0	0	0	0	0	844
主な対策 ・球技場:天然芝から人工芝への改修、散水設備の導入、観客席の設置、園路カラー舗装 ・陸上競技場:ウレタン舗装更新、天然芝改修												

※対策費用については随時見直しを行う。

※この計画により予算が確定されるものではない。

## 8. 更新履歴

更新年月	更新した内容
令和3年3月	年度更新および青年の城等について追記